

令和6年度第1回東大阪市景観審議会デザイン部会議事要旨

日 時	令和6年8月22日(木) 10:00~11:45
場 所	東大阪市役所 14階会議室
出席委員 (4名)	川口委員、久部会長、藤本委員、船曳委員 (50音順)
欠席委員 (0名)	
事 務 局	山下土木部次長、竹田みどり景観課長、山川同課総括主幹、太田同課主査、北野同課係員
担 当 課	朝田文化財課長、小山同課総括主幹、高谷環境事業課主査、熊澤同課主査
議 事	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>【審議案件】</p> <p>議案第1号 東大阪市立新博物館整備事業について(諮問)</p> <p>議案第2号 東大阪市環境事業所再編整備事業について(諮問)</p> <p>3 閉 会</p>
配 布 資 料	<p>○次第</p> <p>○議案書</p>

(議事要旨)

1 開 会

- 開会に先立ち、山下土木部次長よりあいさつ。
- 構成委員の半数以上の出席により会議が成立する旨を報告し、部会の開会を宣言。

2 議 題

- 審議案件
 - 議案第1号―「東大阪市立新博物館整備事業について」
を議案書に基づき担当課より説明。
 - 議案第2号―「東大阪市環境事業所再編整備事業について」
を議案書に基づき担当課より説明。

3 閉 会

- 竹田みどり景観課長よりあいさつ、部会を閉会。

議案第1号―「東大阪市立新博物館整備事業について」

○担当課より案件内容の説明後、下のとおり意見があった。

- ・周辺や山並みとの調和よりも、公共施設として質の高いデザインとされたい。
- ・密集市街地で道路沿いのため、オープンスペースを設けゆとりある空間とされたい。
- ・他にないようなシンボリックなものとするとも考えられるが、その場合でも中景や遠景で見たときに悪目立ちしないデザイン・色彩とされたい。
- ・敷地南西に隣接している忠魂碑について、地域の歴史を知る材料としての活用を検討するとともに、この緑地を生かして博物館のオープンスペース部分と連続性を持たせるよう検討されたい。
- ・中学校との境界について、フェンス等で明確に区分するのではなく、植栽等で一体感のある景観を作り出すことに注力されたい。
- ・茶系や赤系の色相を、近隣で使用されている建物は多いが、使用する場合は、強いアクセントとならないよう注意されたい。
- ・周辺に電線や電柱が多いので、可能であれば電線や電柱の地中化に優先的に取り組まされたい。
- ・オープンスペースに植栽するだけでなく、建物自体にも植栽箇所を設け、成長するとオープンスペースと建物の植栽が一体的に森のような印象のものとなる等、植栽の工夫をされたい。
- ・収蔵スペースの確保と、運搬の際の動線を考慮した、使い勝手の良い質の高いデザインの建物とされたい。
- ・オープンスペースの確保については、セットバックだけではなく、他にも手法があることを設計者に伝わるようにされたい。
- ・昔に存在した集落との関係や、土地の変遷等を意識して計画されたい。
- ・歴史性のある敷地であることを反映した建築や展示となるように、設計者に伝えられたい。

議案第2号―「東大阪市環境事業所再編整備事業について」

○担当課より案件内容の説明後、下のとおり意見があった。

- 例えば「エントランス部分に開放感があるようなデザインにする」等、外観に求める内容が、設計者に具体的に伝わる表現をされたい。
- 東大阪ブランド製品を使用する場合、東大阪ブランド製品のうち景観に配慮したものを活用されたい。
- 周辺は工場や倉庫が多く植栽が少ない場所なので、緑化に注力されたい。
- 色彩について、周辺環境に配慮した色彩ではなく、目立たない色彩とされたい。
- フェンスを使用する場合は、目立たず落ち着いたダークブラウンやグレー等の色とされたい。
- 建物はシンプルで清潔感のあるデザインとし、敷地内の緑化に注力して周辺環境に貢献するものとされたい。
- 収集車について、目につかないよう隠すのではなく、整然と並べてきれいにみせることも選択肢として検討されたい。
- 設置する資源の回収箱等の付属物のデザインについても、建物に馴染むよう工夫されたい。
- 2か所の環境センターのデザインは同じにする必要はなく、一部で共通点をもたせ統一感を出すように検討されたい。
- 地域の防犯への貢献にもつながるので、無人となる夜間について、やわらかい印象の照明をすることを検討されたい。

議案第1号および第2号ともに、これらの意見を踏まえ、部会長にて意見内容を取りまとめ、景観審議会会長に答申依頼をすることとし、閉会。